



2021年度グローバルキャンパス推進本部 オンラインウィンタープログラム説明会

2021年11月29日（月） 19:00-20:00

本日の説明会について

- 学内限定
禁止事項：
録画・撮影、説明会リンクの学外者との共有
- マイク・カメラはオフ
- 後日アーカイブ配信はないので、必要に応じてメモをとる
- 更新版Q&Aは後日Go Global ウェブサイトに掲載予定

説明会の流れ（予定）

19:00 開催挨拶（矢口祐人教授）

19:10 各プログラム共通事項に関する説明

19:13 国際総合力認定制度Go Global Gateway説明

19:20 各プログラムの紹介

- ・ 浙江大学
- ・ INSA Lyon
- ・ カリフォルニア大学サンディエゴ校
- ・ オタゴ大学カリフォルニア大学サンディエゴ校
- ・ オーストラリア国立大学-東京大学合同
- ・ シェフィールド大学
- ・ アジア女性大学
- ・ ソウル大学校-東京大学合同

19:45 Q&A

19:55 オンラインサマープログラム参加学生の声

矢口祐人教授（国際化教育支援室長）

各プログラム共通事項に関する説明 ①

1. 募集要項・応募書類など

- Go Global ウェブサイト参照

「東大 留学」「Go Global」で検索または→

2021年度オンラインサマー参加者の報告書も参照にしてください。→

<https://www.u-tokyo.ac.jp/adm/go-global/ja/report-list-short-summer2.html>



2. 資格・条件 **募集要項を必ず確認！**

- 本学の学部又は大学院の正規課程に在籍する者。2018年4月以降入学の学部の正規課程に在籍する者は、国際総合力認定制度Go Global Gatewayに登録し、Go Global Statementを提出、応募時に承認されている者
- インターネット接続・環境及びカメラ・マイクオン・指定アプリケーションの利用に支障のないこと 等

3. プログラム料金

- 東京大学が負担するため、無料

各プログラム共通事項に関する説明 ②

4. 応募方法・締切

締切厳守！

- UTAS（PC版）で「海外派遣」のタブから申請
- UTASのPC版で見てください！
- 募集要項と、そこにある「申請の手引き」を参照

★12/20（月）正午*
応募締切

**（Go Global Statement
提出・承認締切）**

★12/21（火）正午*
不備で差戻の再申請締切
*全て日本時間

5. 選考

- 書類選考。第3希望まで申請可。英語スコアよりも書類の内容を重視
（全プログラム語学スコア無しで応募可。あると望ましい。）
- 選考にあたっては、参加者の多様性を考慮する場合あり
- 今回は8プログラム 計約200名募集

6. 注意事項

- 募集要項や誓約書の内容は、よく確認すること

早めに準備！

**プログラム別事前
オリエンテーション
参加必須**

国際総合力認定制度Go Global Gateway 概要

- 2018年4月より開始された新しい取組
- 参加対象は2018年度以降に入学の学部学生全員
- 自分に必要な学びや体験をプランニングし、国際交流活動等に取り組むことを推奨。

国際総合力を構成する5つの要素



国際総合力とは・・・

「世界の多様な人々と共に生き、共に働く力」

在学中に様々な国際交流活動に挑戦し、認定を受けよう！

詳細についてはQRコード

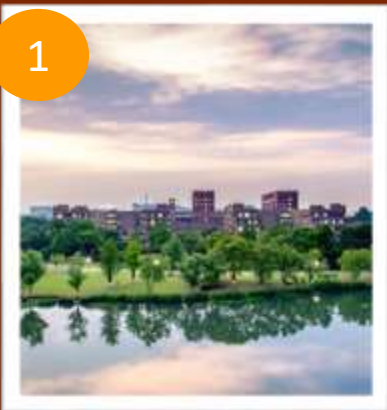
または「東大 国際総合力」で検索！



プログラム概略 ①

両校学生が英語で議論/フィールドワーク

1



必要英語力 ★ ☆ ☆

浙江大学

第2外国語の伸長に！留学生と中国語を学びながら交流

語学・交流プログラム

学部・大学院学生

25名

2月15日～2月25日

2



必要英語力 ★★☆☆～★★★★

INSA Lyon

工学&理学分野の学生対象！
仏文化とSmart Cityを学ぶ

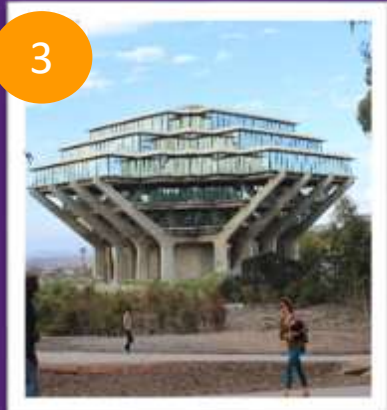
特定分野/文化学習プログラム

工学&理学系学部・

大学院学生 8名

2月14日～2月26日

3



必要英語力 ★ ★ ☆

カリフォルニア大学
サンディエゴ校

講義、現地学生との交流で米国の名門校を疑似体験！初心者も安心！

長期留学動機づけプログラム

学部・大学院学生

25名

2月15日～3月17日

毎週火曜日・木曜日のみ

4



必要英語力 ★ ☆ ☆

オタゴ大学

ニュージーランドのことを学びながら英語力をアップさせたい人に

英語力伸長+αプログラム

学部・大学院学生

20名

3月7日～3月18日

プログラム概略 ②

5



必要英語力★★☆

オーストラリア国立
大学-東京大学合同

英語によるテーマ講義
現地学生との学術交流

文化学習・交流プログラム

学部学生

20名

2月21日、22日、
24日、25日

6



必要英語力★★☆

シェフィールド大学

英語学習
講義聴講や現地学生との交流
英語力伸長・交流プログラム

学部学生

60名

①2月28日～3月4日
②3月7日～3月11日

7



必要英語力★★☆

アジア女性大学

英語でテーマ講義
ジェンダー・フェミニズムについて
の学習と学生交流
テーマ学習・交流プログラム

学部学生

20名

2月17日～2月19日

8



必要英語力★★☆

ソウル大学校-東京大
学合同

英語でテーマ講義
現地学生との交流
テーマ学習・交流プログラム

学部学生

20名

2月8日～2月10日

1. プログラム趣旨・内容（予定）

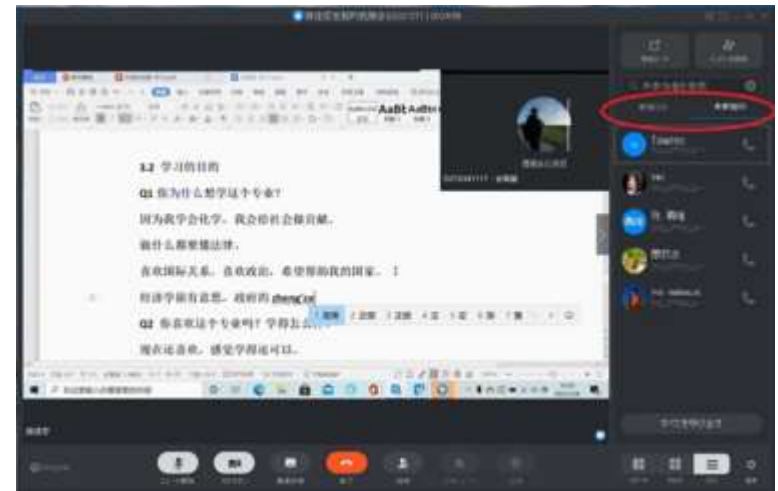
浙江大学が実施する中国語講座や文化体験、学生交流に参加する約10日間のプログラム

- 参加学生は、中国語学習に加えて、中国の文化体験、学生交流を体験できる
- 本プログラムを通して、参加者の中国語能力の向上、中国文化や社会への理解の深化、将来グローバル人材として活躍するための知見の獲得を目的としている
- ※浙江大学：中国で最も歴史の古い総合大学の一つである。中国浙江省・杭州に位置し、上海とも近接している



2. 対象者

- 学部学生・大学院学生
- 募集人数25名程度
- 中国語学習歴は問わない（中国語未学習の者から上級者まで応募可能）
- 中国語学習の意欲があり、異文化等に興味を持っていること
- 中国籍以外であること
- 中級程度以上の英語能力（TOEFL iBT 64、TOEIC 600、IELTS5.0程度以上）を有すること
- プログラム中使用するアプリケーション（DingTalk）のアカウント作成や利用が可能なこと。



↑2020年度実施オンラインプログラムの様子

3. 担当者から

- 中国の文化に興味を持ち積極的に交流を!



1. プログラム趣旨・内容（予定）

工学または理学分野のバックグラウンドや興味関心を持つ学生を対象に、「スマートシティ」をコンセプトとしてINSA Lyonが提供する

<目的>

- 関連する分野の講義受講や実践演習を通じて、「スマートシティ」に関連する論点や方法論を全体的に理解すること
- フランス語や文化学習、現地学生との交流による異文化理解



2. 対象者

- 工学または理学分野の学部学生（教養学部後期課程の統合自然科学科または学際科学科または**PEAK**「国際環境学コース」、工学部、理学部のいずれかの正規課程に在学または進学が決定している2年生以上）及び大学院学生
- 募集人数最大8名
- 英語での講義受講やディスカッションを行うことができる程度の英語能力（中級～上級）を有すること
- その他 募集要項各プログラム別紙参照

3. 担当者から

- 2018年度から対面で2回実施、2020年度もオンラインで実施の実績あり
- 国内外の他大学との合同プログラムの予定。様々な大学からの参加学生との交流機会



カリフォルニア大学サンディエゴ校 ①

1. プログラム趣旨・内容（予定）

海外留学に興味があるものの1人での本格的な留学に不安がある学生に、アカデミックな海外疑似体験の場をUCSDの大学院The School of Global Policy and Strategy（GPS）がオンラインで提供

<目的>

- 海外疑似体験、本格的な留学等への動機付けという目的で、本学学生が集団で参加する（英語話者をはじめ、海外経験が豊富な学生や、英語力に自信があり海外大学の通常のアカデミックな講義・授業を希望する学生向けではない）
- 米国の一流校と現地学生を通じて当該地域の文化・社会について知見を深める
- 米国の一流校のアカデミックな環境を疑似体験
- 講義受講等で自身の英語能力を知り語学学習への指針とする



カリフォルニア大学サンディエゴ校 ②

2. 対象者

- 学部学生・大学院学生
- 募集人数**25**名程度
- 中級程度の英語能力、TOEFL iBT 75～または TOEIC750 ～が目安
- 将来留学を考えており、海外大学での授業の受講、異文化体験等に興味を持っている
- その他 募集要項各プログラム別紙参照

3. 担当者から

- 2019年度まで対面で7回開催で実績あり
- 現地学生等との交流、キャリアサービスワークショップ、研究所バーチャルツアー等豊富なコンテンツ
- 週2日（火・木）実施により、個人の予定や予習復習に対応



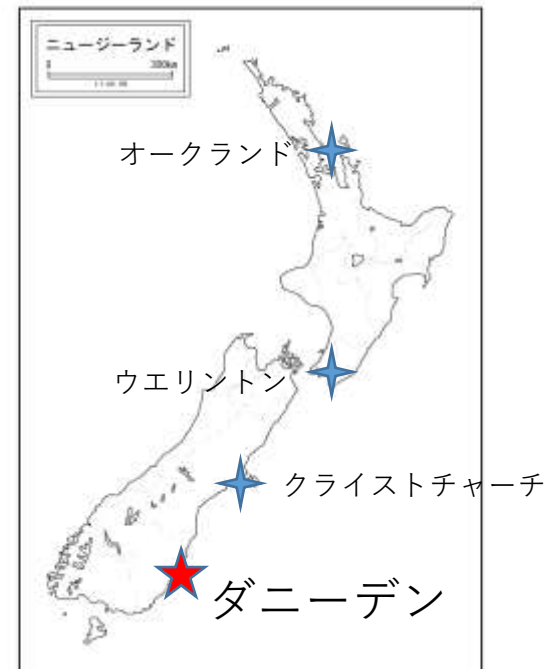
オタゴ大学 ①

1. プログラム趣旨・内容（予定）

英語学習を集中して行いたい学生
向けに実施する約2週間のプロ
グラム

<目的>

- 海外疑似体験、本格的な留学等への動機付けという目的で、本学学生が集団で参加する（英語話者をはじめ、海外経験が豊富な学生や、英語力に自信があり海外大学の通常のアカデミックな講義・授業を希望する学生向けではない）
- 英語能力の向上
- ニュージーランドへの理解を深める



2. 対象者

- 学部学生・大学院学生
- 募集人数20名程度
- 将来留学を考えるなど、海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っている
- その他 募集要項各プログラム別紙参照



3. 担当者から

- これから英語能力を伸ばしていきたいという方には第一歩として、将来留学を考えている等ある程度自信のある方には英語力を試す場として、有意義なプログラム



オーストラリア国立大学-東京大学合同 ①

1. プログラム趣旨・内容（予定）

未だ留学等の国際経験が少ない学生をターゲットとして語学学習に留まらない国際交流と理解のための「留学体験」をオンラインで提供

- 「共生」という包括的テーマのもと、日本やオーストラリアの先住民の歴史や文化、東日本大震災の復興や水産業への影響等について、英語で学習する
- グループワーク等を通してANUの学生と協働しながら交流を深める
- 将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけ
- 学年、文系・理系問わず参加可能



オーストラリア国立大学-東京大学合同 ②

2. 対象者

- 学部学生
- 募集人数**20**名程度
- 中級程度の英語能力、CEFR B1～B2が目安（講義の受講、ディスカッションができる程度の英語力）
- 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること

3. 担当者から

- 日本、オーストラリア両国の歴史、文化等について様々な講義、グループワークを通して学習します。バーチャルミュージアムツアーも予定
- 国際経験の少ない学生からの積極的なご応募お待ちしております

シェフィールド大学 ①

1. プログラム趣旨・内容

シェフィールド大学English Language Teaching CentreによるUniversity English programme (UE)として英語学習コースや英語で実施される講義などの海外疑似体験を本学学生向けにオンラインで提供

- 英語学習クラスや講義等を通じて英語能力の向上と自信を身につける
- 英国にいる教員や学生との交流や講義等をとおして、英国をはじめとした様々な文化・社会への理解を深めるとともに視野を広げる
- 将来の長期留学や海外でのキャリア形成等に向けた動機づけ



The
University
Of
Sheffield.

English
Language
Teaching
Centre.

2. 対象者

- 学部学生
- 募集人数**60**名程度（各日程**30**名ずつ）
- 中級程度の英語能力、**CEFR B1～B2**が目安
- 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っていること
- プログラム中使用する遠隔会議ツール（**Zoom**を予定）の利用が可能なこと

3. 担当者から

- オンライン学習提供に慣れている
- 現地学生との交流の機会を活発に行う
- 今まで海外大学のプログラムに参加したことがない学生の積極的なご応募お待ちしております

アジア女性大学 ①

1. プログラム趣旨・内容

アジア女性大学（バングラデシュ）と東京大学が合同で、「ジェンダーを考える～フェミニズムを中心に～」をテーマに両大学の学部学生を対象とした3日間のオンラインウィンタープログラムを実施します

- ジェンダーやフェミニズムについての基礎的な知識を得るだけでなく、参加学生同士の交流を通してジェンダーやそれに関連する諸問題についての考えや経験を共有します。
 - 国境や教育機関の垣根を越え、多様なバックグラウンドを持った学生と共に学ぶ中で、私たちの生活と密接に関わるジェンダーの問題への理解を深めていくことを目的とします。
- ★2日目までは両大学の教授による講義と参加者同士の交流を目的としたワークショップを実施します。
- 3日目には2日間の共修の成果をグループプレゼンテーションで発表します！



2. 対象者

- 学部学生
- 中級程度の英語能力を持っている者（CEFRのB1～B2レベルを目安とします）
- 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っている者
- プログラム中使用する遠隔会議ツール（Zoomを予定）の利用が可能な者

★ジェンダーに関する事前の専門知識は不要です

★学年、文系、理系を問わず参加できます

募集人数：20名程度

3. 担当者から

様々なバックグラウンドを持った学生と英語を用いて学習・交流する大きなチャンスです！積極的なご応募をお待ちしています。

ソウル大学校-東京大学合同 ①

1. プログラム趣旨・内容（予定）

韓国のトップ大学であるソウル大学校の学生と英語で共に学び、交流するプログラム。日韓関係や東アジアの現況に関する講義を聞くと共に、現在と未来の日韓関係についてディスカッションを行います。また、プログラムの中では文化交流セッションも行われます。

- 韓国を代表する研究者の講義に加え、当該研究分野の第一人者である東大の先生のお話もあります。
- 隣国韓国の未来を担う学生たちと、英語を使ってディスカッションやグループワークを行います。
- ソウル大学校の学生と交流し、東アジアの未来について考えます。



東大生と交流するSNU生の様子（2020年度ウィンタープログラム）

ソウル大学校-東京大学合同 ②

2. 対象者

- 学部学生
- 中級程度の英語能力を持っている者（CEFRのB1～B2レベルを目安とします）
- 海外大学での授業の受講、英語学習、異文化体験に興味を持っている者
- プログラム中使用する遠隔会議ツール（Zoomを予定）の利用が可能な者

★事前の専門知識は不要です

★学年、文系、理系を問わず参加できます

募集人数：20名程度

3. 担当者から

ソウル大学校の学生との共修を通して日韓関係について考え、相互理解を深める貴重な機会です！積極的なご応募お待ちしております。

Q&A ①

No	分類	質問	回答
1	応募・選考	選考の基準となる目安など	募集要項や説明に沿った不備のない申請書・成績評価係数・多様性など
2		学部三年生でも問題ないか	募集要項の資格・条件を満たせば問題ない
3		国費留学生でもこのウィンタープログラムに参加できるか。また、交換留学生になれるか	本オンラインウィンタープログラムは、正規課程在籍中でプログラム中に休学中でなければ可能。交換留学については、別途所属学部・研究科の担当部署に確認してください
4		修士学生でも参加できるプログラムはあるのか	INSAリヨン（ただし専攻の制限あり）、浙江大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校、オタゴ大学は参加可能
5		応募者多数の場合、参加者の選定は抽選になるか	抽選ではなく、書類選考

Q&A ②

No	分類	質問	回答
6	英語能力	帰国生でも英語のプログラムに参加する意義があるか	オタゴ大学：初級者からある程度自信のある上級者程度まで対応しているが、すでに英語能力の高い方は満足できない可能性 シェフィールド大学：中級程度の英語能力の（CEFR B1-B2）学生向けの英語学習プログラムを提供するので、自身の英語能力がその範囲であり、英語能力をもっと伸ばしたいのであれば、参加する意義はある
7		どの程度の英語の能力を前提としているか。どの程度英語が喋れないといけないか	【INSAリヨン】英語での講義受講やディスカッションを行うことができる程度の英語能力 【INSAリヨン以外】専門的ではなく、講義を聴講したり、現地教員・学生との交流が図れる程度

Q&A ③

No	分類	質問	回答
8	各プログラム	オンラインで参加する際に、参加者本人がいなければならない場所に条件はあるか（自宅からの参加に限るなど）	募集要項の資格・条件にあるとおり、「インターネット接続・環境及びカメラ・マイクの利用に支障がなく、プログラム中はカメラ・マイクをオンにしておける参加が可能」であれば特に条件はありませんが、主催大学側や他の参加者に迷惑がかからない静かで落ち着いた場所であること
9		このウィンタープログラムでは、どの程度出席することが求められているか	真剣に参加の意思がある全日程参加が可能なプログラムのみに応募し、参加決定の場合は全日程参加すること

Q&A ④

No	分類	質問	回答
10	各プログラム	INSA Lyonのプログラムは対面時や2020年度のオンライン開催時は何人くらいの募集があったか。見込みの応募倍率や、応募者僅少となる可能性がどれくらいか	対面実施の2018・2019年度はいずれも学部学生のみで本学から10名募集。本学からの参加は2018年度は9名、2019年度は7名。オンライン実施の2020年度は学生が実施機関に直接応募する形式で先着順で5名程度募集し、1名参加。今年度はオンラインウインタープログラムとして本学がプログラム料金を負担することで、応募が2020年度より増えることを見込んでいる。本プログラムは他大学からの参加者も参加予定のため、応募者僅少の可能性は不明
11		中国の大学と交流するプログラムでは中国語の能力はどの程度要求されるか	中国語学習歴は問わない（中国語未学習の者から上級者まで応募可能）が、中国語学習の意欲があり、異文化等に興味を持っていること、中国籍以外であること

Q&A ⑤

No	分類	質問	回答
12	その他	現地集合は認められているか	今回のウィンタープログラムは全てオンラインで準備・提供のため、オンライン上で集合
13		本プログラムはオンラインでの実施か	今回のウィンタープログラムは全てオンラインで準備・提供
14		今回この短期プログラムがオンラインなら、将来的に渡航を伴う同様のプログラムの実施はあるか	今回のオンラインウィンタープログラムについては渡航は予定していないが、今後については未定
15		本プログラムは学生は無料か	無料（東京大学がプログラム料を負担）
16		2022年度は海外派遣はあるか。また2022年度はサマープログラムの海外派遣はあるか	今後の短期プログラムについては未定

2021年度グローバルキャンパス推進本部主催 オンラインサマープログラム参加学生の声 ①

- 応募を迷うくらいなら応募してしまいましょう。貴重な経験ができると思います。
- オンラインでありながらも非常に多くを得られるプログラムであり、自身の成長にも繋がる良い経験でした。時間があり海外に少しでも関心がある方は是非参加してみてください！
- プログラムに参加すれば、様々な視点や発見が得られ、将来のキャリア、自分の興味関心を改めて考えるための機会が得られるはずです。
- 国際交流プログラムへの参加なんて初めて！という人には、「全時間拘束されない」という点でもちょうどいいのではないかと思います。
- 短期のものは長期のものに比べて比較的参加しやすいのでぜひふるって応募してください。そこで失敗し成功した経験が自分を豊かにしますし、長期の留学や海外での生活にも必ず生きてくると 생각합니다。
- 気軽に参加できるので、留学に興味ある方は挑戦してみてください。
- 費用やスケジュール調整の面で参加のハードルはとても低く、個人的には様々な点で新しい学びを得ることができました。オンラインであってもとても意義のある時間を過ごすことができると思います。

2021年度グローバルキャンパス推進本部主催 オンラインサマープログラム参加学生の声 ②

- オンラインプログラムは参加しやすく、渡航を伴う留学の前段階としてとてもよいと思います。
- オフラインで実際に渡航するとなるとかなりの準備と費用が必要になり思い悩むことが多いですが、オンラインのプログラムであれば気軽に挑戦することができます。少しでも興味があるのなら挑戦してみる価値は大いにあると思います。
- オフラインの留学と比べて、オンラインプログラムってどうなのだろう？と疑問に思うかもしれませんが、予想以上に充実した2週間でした。オンラインでも異文化間で意思疎通ができたことにとても達成感が湧きます。
- 対面のプログラムと比較して、オンラインプログラムでどれほどの学びや経験が得られるのか、不安であったり懐疑的に感じたりしている方もいるかもしれませんが、開催形態そのものよりも、自分から何かを得ようとする姿勢がプログラムの質を左右すると思います。そのうえで、本気で参加してみたいものには思い切ってチャレンジしてみたら良いのではないのでしょうか。
- コロナ禍だから、オンラインだから、と足踏みするよりは、海外には行けなくても現代のネット環境を活用して少しでもコミュニケーション取ってやる、という気持ちでチャレンジしてみてほしいです。参加したそれぞれの人にとって得られるものは必ずあります！！

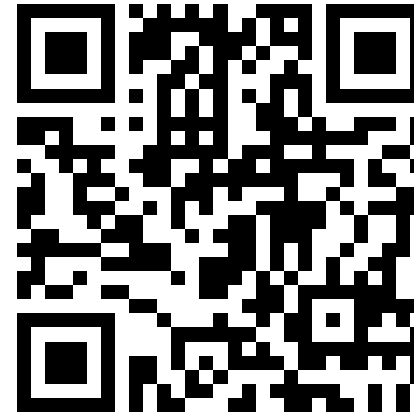
Thank you!

問合せ先

◆プログラム内容について

本部国際交流課：

[studyabroad.adm\[at\]gs.mail.u-tokyo.ac.jp](mailto:studyabroad.adm[at]gs.mail.u-tokyo.ac.jp)



◆単位認定等について

各学部・研究科担当係

SNSもぜひフォローを！



多数のご応募お待ちしております！